

浦川原区 地域協議会だより

発行日：令和5年3月25日

通算：第55号

発行：浦川原区地域協議会

編集：地域協議会編集委員会

地域協議会事務局

(総務・地域振興グループ内)

ほくほく線の利用促進及び利便性向上について

市に意見書を提出しました

自主的審議事項として検討を進めてきました「ほくほく線の利用促進及び利便性向上について」、2月2日付けで上越市長に意見書を提出しました。その後、2月22日に開催した第11回地域協議会において、市交通政策課から意見書に対する回答の説明を受けました。

今後、地域協議会において、北越急行(株)のネットショップを活用した特産品等の販売のほか、駅前広場でのマルシェや駅舎でのカフェを地域運営で実施する場合、具体的にどのような形で取り組むことができるのか、話し合いを進めていきたいと考えています。



(当区地域協議会が提出した意見書と市からの回答は、次のとおりです。)

1 令和6年春の敦賀延伸を見据え、北陸新幹線の停車駅である上越妙高駅へのほくほく線の乗り入れを復活するとともに、本数を多くすること。

直江津駅での乗り換えを少なくすることにより、関西方面への移動の利便性向上を図る。なお、直江津駅で乗り換える場合は、高齢者・障がい者等に配慮し、同一ホームでの乗り換えとすること。

【回答】

上越妙高駅への乗り入れや直江津駅での乗り換えについては、鉄道各社が利用状況や保有する車両数、車両の折り返し、他社の鉄道との接続など、様々な要素を勘案し、調整しております。このたびの利便性向上に関するご意見につきましては、取組の参考としていただけるよう北越急行株式会社にお伝えいたします。

2 JR黒井駅にほくほく線列車の停車本数を多くすること。

直江津地区工場群の通勤者(交代勤務者も含む)に「ほくほく線」の利用促進を図る(パーク&ライドによるSDGsの実現)。

【回答】

JR黒井駅への停車本数については、意見1に対する回答と同様に、北越急行株式会社が様々な要素を勘案し、調整しております。このたびの利便性向上に関するご意見や、利用促進に関するご提案につきましては、取組の参考としていただけるよう同社にお伝えいたします。

3 当地域の農産物生産者や民間事業者が北越急行(株)のネットショップ網を活用して地域の特産品等を販売し、利益の一部を北越急行(株)に還元するとともに地域の活性化につなげる。

【回答】

北越急行株式会社のネットショップにおいては、ほくほく線の利用促進やマイレール意識の醸成につながるグッズを販売しており、収入確保の一つの方策として実施しているものと認識しております。市といたしましては、地域からの提案を同社へ取り次ぐなど可能な支援を行ってまいりますので、具体的な実施内容案を作成いただき、浦川原区総合事務所へご相談ください。

4 北越急行(株)が製造する新車両には、必ず車内トイレを設置すること。

【回答】

ほくほく線車両内のトイレ設置につきましては、平成29年度の貴会からの意見書に対する回答のとおり、北越急行株式会社に対し、新車両導入時にはトイレ付車両を導入するよう提案してきたところであります。同社からは、新車両導入時にトイレを設置する方向で検討を進めていると聞いております。引き続き、市民の要望として、このたびのご意見を同社にお伝えいたします。

5 虫川大杉駅・うらがわら駅両駅舎を活用し、地域の方々が企画・運営するイベントにより駅舎周辺の活性化と「ほくほく線」の利用促進を図るために必要な支援をすること。

例えば、駅舎前広場でのマルシェ(地元生産者やキッチンカーの出店)や駅舎でのカフェ(茶屋)などのイベントを地域運営で開催するための協力。

【回答】

ご意見にあるとおり、駅舎を活用することにより、鉄道や駅舎等への愛着・理解を高め、沿線住民のマイレール意識の向上や利用促進につながることを期待できると考えます。ご提案いただいたイベント内容によっては、市の支援メニューを活用できる場合もありますので、具体的な取組をご検討いただき、浦川原区総合事務所へご相談ください。

「浦川原いいところ探し」まとめ発表会

3月9日（木）、浦川原中学校1年生が「浦川原いいところ探し」まとめ発表会を開催しました。

発表会では、「ふるさと浦川原の伝統文化」をテーマに、「月影雅楽・飯室神楽・保倉川太鼓」の3団体について、昨年11月の現地学習及び体験活動と12月の地域協議会委員との意見交換会を踏まえ、中学生が学習先ごとに感想や課題等に対する提案をまとめたものを、団体の皆さんに発表しました。

中学生は自分たちの目線で、自分たちができることとして、「給食の時間に音楽を流す」「活動資金を集めるため、寄付や募金の呼び掛けを行う」「宣伝のためにポスターを作る」などの提案を行いました。団体の皆さんからは「自分たちでは考えつかないことで、おもしろい発想だった」「自分たちが活動を続けていくためには何が必要か、中学生がこんなに一生懸命考えてくれたことがありがたい」と感謝の言葉を述べられていました。



活動報告

日時	項目	主な内容
2/17	大浦安地域協議会委員研修会 (安塚コミュニティプラザ)	テーマ：中山間地域のまちづくりに関して地域協議会に期待すること 講師：上越市副市長 小田副市長 様
2/22	第11回浦川原区地域協議会 (浦川原コミュニティプラザ)	<ul style="list-style-type: none">・浦川原区地域協議会からの意見書に対する回答について【市からの報告】・浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみの廃止について【市からの報告】・3区中学校統合の進捗状況について【市からの報告】・地域独自の予算の事業一覧について【市からの報告】・中学生との意見交換会（中学生による団体への提案）について【委員報告】・自主的審議事項の検討について【協議】

※上記のほか、自主的審議事項検討のためのグループごとの話し合いなどの活動に取り組んでいます。

■編集後記

田んぼの雪も消え、本格的な春がすぐそこまできている今日この頃です。

私たちは現在、2つのグループに分かれて、これからの浦川原について様々な課題を取り上げ、「自主的審議事項」として議論を行っています。Aグループは「文化の伝承」というテーマで、「月影雅楽」「飯室神楽」「保倉川太鼓」の3つを残すにはどうしたらよいかを話し合っています。Bグループは「中山間地域における公共交通の在り方」をテーマに、ほくほく線をマイルールとして地域で支え、存続するための方策を考えています。

地域協議会の立場で、今後の浦川原を良くしていくために、お手伝いできることはないかと審議を重ねる日々です。すぐ解決できる問題は少ないですが、一步一步前進できるよう頑張りたいと思います。

編集委員：村松進・相澤誠一・赤川義男・杉田和久